

アブラハムの出立  
創世記 11 章 31～12 章 8 節  
新改訳 2017  
ホープチャペル所沢

テーマ聖句 創世記 11 章 31～12 章 1 節

イントロダクション

どんな人でも信仰の出発となるスタート地点がある。今日は信仰の父と言われるアブラハムの信仰の出発点を見ながら、私たち自身の信仰のあり方も考えていきたい。

1) 信仰の歩みのスタート

- ・父は偶像礼拝者（ヨシュア記 24：2）
- ・最初の神様からの語りかけ（創世記 15：7、ネヘミヤ 9：7、使徒 7：2）
- ・行き先を知らずに（ヘブル 11：8）
- ・不完全な従い方（創世記 12：1）

2) 約束の内容（創世記 12：2～3）

- ・神様からの語りかけは個人的な体験
- ・アブラハムへの祝福の約束
  - ① 大いなる国民とする
  - ② あなたの名を大いなるものとする
  - ③ 地のすべての部族がアブラハムによって祝福される

3) 2 度目の出立

- ・信仰は一步一步（創世記 12：4～6）
- ・モレの櫛の木（創世記 12：6、申命記 11 章 29～30）
- ・神の約束が少し具体的に明かされる（創世記 12：7）
- ・主のために祭壇を築く（創世記 12：7、マタイ 6：33）

まとめ

信仰の歩みを始めたアブラムは最初から完全な従い方はできなかった。しかし与えられたチャンスで次の歩みを始めた。このように一步一步神に従う時に神の約束は成就する。そしてアブラハムは語ってくださった主に感謝して祭壇を築き礼拝した。私たちも同じような歩みをしていきたい。



今週のみことば  
創世記 11 章 31～12 章 8 節

20230910hctj